

平成19年11月 2 日

各 位

名古屋市中村区名駅四丁目23番9号
株式会社クロップス
代表取締役社長 前田 博史
(コード番号：9428) 名証セントレックス
問合せ先：取締役管理部門担当
小林 正明
(TEL 052-588-5640)

平成20年3月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、本年5月11日付で発表いたしました平成20年3月期中間期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期 中間業績予想の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(1) 連結中間業績予想の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	9,090	390	390	194
今回修正予想(B)	8,808	416	418	217
増減額(B-A)	△282	26	28	23
増減率(%)	△3.1%	6.7%	7.2%	11.9%
(ご参考) 前期実績(平成18年9月期)	8,588	489	488	236

(2) 個別中間業績予想の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	5,090	250	260	137
今回修正予想(B)	4,863	311	327	181
増減額(B-A)	△227	61	67	44
増減率(%)	△4.5%	24.4%	25.8%	32.1%
(ご参考) 前期実績(平成18年9月期)	4,833	314	329	167

2. 修正理由

中間期の連結業績につきましては、売上高は人材活用事業では概ね予想通り推移したものの、移動体通信事業における販売単価の減少から当初予想を下回る見込みとなりました。

営業利益が増加した主な要因は、移動体通信事業における仕入原価の減少に加えて、上半期に予定した店舗のリニューアル・リプレイスが建築確認等の遅れから下半期にずれ込んだことにより販管費が減少する見込みとなったものであります。また、営業利益の増加に伴い経常利益が増加し、店舗のリニューアル・リプレイスに伴う固定資産除却損が下半期にずれ込むことから純利益も増加する見込みとなったため、業績予想を修正するものであります。

なお、個別の業績見通しにつきましても連結と同様に修正いたします。

3. 平成20年3月期通期業績予想について

平成20年3月期の業績予想は、移動体通信事業において料金プランの変更等が下半期に実施されることから市場動向の不透明要素があること、また上半期に計画した店舗のリプレイス等がずれ込むことから、平成19年5月11日に公表した数値より変更しておりません。

(1) 平成20年3月期の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期予想	18,500	815	810	400

(2) 平成20年3月期の個別業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期予想	10,350	525	530	280

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報等に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上